

第 16 回 恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会 総務部会（会議録）

会議の名称	第 16 回恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会総務部会		
開催日時	令和 7 年 11 月 11 日（火） 午後 7 時 30 分から		
開催場所	岩村コミュニティセンター 2 階大会議室		
議題	・課題No.2 校歌の制定について ・課題の整理状況について		
公開非公開の別	公開		
出席者	委員 原田 英明 安藤 善和 杉山 淳 小木曾 真由美 市岡 信宏 岡庭 寿則 服部 雪美 堀 雄二 近藤 譲 成瀬 久志 加藤 浩児 小笠 寿里 加藤 美香 佐藤 正隆 三浦 祐揮 鈴木 茜 山田 珠美 教育委員会 工藤 博也 山本 晋平 西尾 功 安部 尚紀 志津 博光 勝 有紀		
会議の内容	会議録のとおり		

副部会長 失礼いたします。あと数名の委員の方、きっとこの後、ご到着されると思いま
すが、時間が来ておりますので、ただいまから第16回恵那市恵那南地区統合
中学校準備委員会総務部会を開催いたします。よろしくお願ひします。

1 部会長挨拶

副部会長 それでは、まず初めに、部会長、お願ひします。

部会長 皆さん、こんばんは。着座のままご挨拶させていただきます。

これを見て思うのは、総務部会、16回を数えたということで、本当に皆さん、
長い間、いろいろと議論いただきましてありがとうございます。もうそろそろ
ゴールが見えてきたかなというような状況にございますが、日に日に寒くなっ
てきて、明日の朝もちょっと場所によっては路面も危険な状態になったりする
時期になってきました。今日は校歌が聞けると思いますので、それも含めて皆
さんにご審議いただきたいと思います。

以下の進行は副部会長にお願いしたいと思います。よろしくお願ひします。

副部会長 ありがとうございます。

2 協議事項

(1) 課題ナンバー2、校歌の制定について

副部会長 そうしましたら、早速、2番の協議事項に移りたいと思います。

まず初めに1、課題ナンバー2、校歌の制定について、事務局よりお願いしま
す。

事務局 総務部会事務局の安部と言います。よろしくお願ひいたします。座って説明さ
せていただきます。

資料の1ページをお願いいたします。

1ページは下の段になりますが、校歌の制定につきましては、令和6年10月
に開催された第7回の理事会によって、総務部会で検討された内容を踏まえ、
校歌の選定委員会を立ち上げて、委託先等の選定を行うということを提案をい
たしました。しかし、理事の皆様から様々なご意見をいただき、最終的には委
託先の選定を含め、事務局が中心となって進めていくことで決定されました。

その後、総務部会や理事会、総会で岡田如実さんに校歌の制作をお願いしたい
ということを報告させていただき、今年の5月1日に委託契約を結びました。
委託内容につきましては、校歌の制作に加え、完成後の歌唱指導も含まれてお
ります。校歌が10月末に完成しましたので、本日、総務部会の皆様に校歌を
聞いていただきたいなと思います。

歌詞につきましては、お手元に配付をしております。御覧いただきたいと思
いますが、校歌の制作に当たり、恵那南中学校の基本構想と、あと今年3月に児
童生徒へ実施した新しい中学校に望むことを自由に書いてもらうアンケートの
結果を、岡田さんにお渡しをいたしました。さらに南中学校となる山岡中学校
にもお越しいただき、学校の雰囲気なども御覧いただき、こうした情報をもと
に校歌の作成をお願いしました。

この校歌のタイトル「心のままに」がメインタイトルになっております。自分の気持ちや信念を大切にし、自分らしく未来へ歩んでほしいという思いが込められています。また、歌詞のほうには5つの中学校が統合し、異なる地域から集まった仲間とともに新しい学校で出会い、協力しながら成長していく姿や、希望を胸に新しい扉を開く勇気が描かれています。この校歌が生徒たちの心に寄り添い、日常で口ずさめる応援歌のような存在になればと思っております。それでは、校歌のほうをちょっと聞いていただきたいと思いますが、この校歌については恵那高校の音楽部の皆さんにご協力いただいて録音をしております。それではお聞きください。

〔校歌〕

- 事務局 この校歌につきましては、校長会のほうでもこの校歌を聞いていただき、曲が明るくて歌いやすいとか、合唱曲でハーモニーが美しい、子供目線で斬新で新しい校歌などと高評価をいただいております。今後につきましては、年明けに予定しています理事会、総会において校歌制定について報告を行って、完了としていきたいなと思っております。
以上になります。
- 副部会長 今、事務局のほうから校歌策定までの経緯と、そして岡田さんの方に依頼した内容のときに、何に基づいてこの校歌を作詞、作曲いただいたかというところの説明、そして恵那高校の音楽部の生徒さんによる合唱をお聞きいただきましたが、お聞きいただいているかがだったでしょうか。ご意見や、ここに至るまでのところでご質問等ございましたらよろしくお願いします。
- 委 員 校歌を決めるに当たって、この校歌を委託されたときの委託費ってどれくらいかかったんですか。
- 事務局 校歌作成の委託料は50万円です。先ほどもちょっと説明させていただきましたが、年明けに歌唱指導を予定していますが、それも含めた金額になっています。
- 委 員 もう1個教えてほしいんですけど、前にもアドバイザーの先生もおっしゃってたことがあると思うんですけど、校歌を決めるに当たっても校訓とか教育目標ということが全部一連になってつながってくるんだよって話をしてたんですけど、この辺は織り込み済みでやっていらっしゃる感じですかね。
- 事務局 教育目標についても、南中学校の基本構想がベースになっていますので、その基本構想を岡田さんにもお渡しをして、この校歌を制作してもらっていますので、そのつながりはあるというふうに事務局は思っております。
- 副部会長 昨日、校長会がございまして、5校の中学校の校長でこちらの校歌のほうも確認したんですけど、先ほどの意見にもあったところに加えて、例えば恵那南の、例えばそれぞれの地区にある有名な山や川の名前ですとか、いろいろな文化や産業について、歴史的なものとかについての言葉は、特にこの歌詞の中には盛り込まれていません。けれども、5校の校長が、やっぱりそれぞれの地域、ふるさと学習は大事にするんだけれども、あえて5つの地区からのものを平等に、この中に盛り込んだときに、収まりきらなくなってしまう。それよりも、やつ

ぱり校歌っていうのは、そこで学ぶ中学生がそこでどんな中学校生活を実現したいかということや、どんな中学校卒業後の大人に成長していきたいかというところの夢や希望が語れる、それが大事だねということで、この岡田さんの作詞いただいた言葉っていうのは、大変そこにはぴったり合っているんじゃないかなということで意見がまとまりました。

あと、校長先生方がこの後、子供たちにどういう形でこれが紹介されて、来年の4月に向けて各学校で練習が進んでいくことになるかというところで、ぜひまたそのあたりの各学校での練習の、岡田さんが来てくださる日にちの調整ですか、練習の予定を、計画をこれから各学校でそれに合わせて組んでいくことになるので、その情報を事務局のほうからまた示してもらえればという意見も出ております。

部会長 私、この歌詞を見たとき、すごいユニークな部分があるなど。この「迷いながらも信じる扉開くんだ」という、なかなか「迷いながらも」っていうことを校歌に入れてるところは少ないと思うんですけども、でもそういう今の時代を生きる、私たちもそうですけれども、特に若い子供たちは、「やれ、行くぞ」みたいなことばかりではないという現実がある中で、「信じる扉を開いていく」、「僕らの明日」とか、「世界を待っている」とか、そういうところにつなげていくという書き方をされたのは非常にいいなと、共感できる部分だと、僕は思いました。

副部会長 これから子供たちが、この歌を学校生活の節目、節目で歌っていくことになります。その様子を思い浮かべていただきながら、ぜひ総務部会として、この校歌でいきましょうということを、この後の理事会、総会のほうにつなげていければと思いますが、皆様、よろしいでしょうか。

はい。ありがとうございます。それでは、こちらの岡田さんが作ってくださった「心のままに」を恵那南中学校の校歌として、この後、理事会、総会のほうに諮っていきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

また、総会等のスケジュールと、もしかしたら近くなるか、前後するかもしれませんけども、各学校のほうに岡田さんのスケジュールと調整をして、この校歌を子供たちにも紹介していくことになると思いますので、またその日程等が決まりましたら部会の皆さんにも、こういうふうで進んでいくよということを何かの形で事務局のほうからお伝えいただければありがたいです。よろしくお願いします。

（2）課題の整理状況について

副部会長 それでは、協議事項の2、課題の整理状況について、事務局からお願ひします。
事務局 そしたら資料の5ページをお願いいたします。

課題の整理シートになります。総務部会が担当します検討課題は8つあります。課題整理状況の欄が「完了」となっている課題につきましては、理事会、総会にて決定、承認をいただいている課題となります。それぞれの課題の整理状況について説明させていただきますので、資料が前後して申し訳ありませんが、

1ページにお戻りください。

1ページの上の段になりますが、課題ナンバー1、新中学校の名称についてになります。学校名につきましては、公募により募集し、上位の「恵那南中学校」と「恵南中学校」の2案で、理事会にて「恵那南中学校」と決まり、その後、総会で承認をされております。

次に、下の段の課題ナンバー2の校歌につきましては、先ほど説明したとおりになります。

2ページをお願いいたします。

上段の課題ナンバー3の校章になります。校章につきましては、広くデザイン案を募集いたしまして、児童生徒、保護者の投票によって選ばれた作品が校章となっております。校章のデザインの作者につきましては、岩手県一関市在住の伊藤勝則さんです。

2ページの下の段になりますが、課題ナンバー4の校訓等の制定についてですが、校訓は教育目標をもとに、開校後に生徒と職員で検討することとし、教育目標は生徒の生活や成長に合わせて必要な見直しを行うことで理事会、総会にて決定、承認をいただいております。

3ページをお願いいたします。

3ページの上の段になりますが、課題ナンバー5の制服、体操服、カバン、上履きになります。制服と体操服につきましては、岐阜カンコーをサポート業者として総務部会でデザイン案などを整備していただき、児童生徒、保護者の投票によって選ばれたデザインが採用されました。

カバンと上履きにつきましては、校長会からの提案を採用し、課題ナンバー5については理事会、総会にて決定、承認をいただいております。

3ページの下の段になりますが、閉校記念式典になります。各学校での閉校式は来年の3月21日と22日で執り行う予定であります。次第や参加者、来賓につきまして、記載はしておりますが、まだ案の段階になりますので、今後、変更になる部分があるかも知れませんのでご承知おきください。この内容につきましては理事会、総会にて決定、承認をいただいております。

4ページをお願いいたします。

4ページの上の段になりますが、課題ナンバー7の閉校記念式典になります。閉校式につきましては、来年の4月7日に執り行う予定であります。次第や参加者、来賓につきましてはまだ案の段階ですが、現時点では記載の内容で準備を進めております。この内容で理事会、総会では決定、承認をいただいております。

続いて4ページ、下の段になりますが、課題ナンバー8、広報活動に関する事項になります。資料に今、記載のとおり、適切な情報提供を随時行うため、広報活動を継続しております。課題ナンバー8につきましては、理事会や総会では決定や承認を要する事項ではありませんので、今後も必要な情報を随時発信し、進捗状況などの周知に努めてまいります。

以上、簡単に説明させてもらいましたが、課題の整理状況について説明させて

- 副部会長 いたしました。
- 副部会長 以上になります。
- 副部会長 ありがとうございます。ここまで総務部会がこれまで検討してきた内容については、皆さん、これでご確認いただけたかと思います。よろしくお願ひいたします。
- 事務局 すいません、ちょっとひとつ、校歌のところに戻ってなんですかけれども、いただいたこちらの下にあるこのQRコードは、これは、これ読み取れば、今、校歌が聞けるということでおろしかったでしょうか。
- 事務局 これは読み取った方にしか聞けないというか、一応ユーチューブ上にはアップはしていますが、このQRコードを読み込んだ人しか試聴できない設定しております。自宅に戻られてからでも結構ですけど、もう一度聞いていただければと思います。
- 副部会長 これ、総務部会に来ていらっしゃるところのお家のお子さんは、聞いても大丈夫ですか。いいんですか。
- 事務局 どういたしましょう。
- 副部会長 本来あれば総会を経てから、そういうことになるので、ちょっとまだお子さん方に聞かせるのは、ちょっとまだ留めておいていただけるとありがたいなと思いますので、ぜひ保護者の皆さん、よろしくお願ひいたします。
- 事務局 部会の委員の方々が、ご確認のために個人的にお聞きになるということでお願いしたいです。
- 副部会長 すいません、よろしくお願ひいたします。ありがとうございました。
- 副部会長 それでは、本日の協議事項については以上でございますが、そのほか何かここでご確認いただけますか。お願いします。
- 委員 ご報告ではあるんですけど、私はこの総務部会に出て、○○さんからジャージのことをお聞きして、すごく本当によかったですと思っていて、それがありがたいことに、上矢作の自治区と連携して、自治区と中学校PTA、小学校PTAと連携して、資源回収のお金でジャージを買うということになりましたので、本当にありがたいなと思っていて、町の自治区の人たちも協力してくださって、皆さんで、じゃあそういうSDGs的なことをやりながら、子供たちにジャージをプレゼントしようという方向になったので、本当にありがとうございました。なので、これは、何かやっぱりやろうと思ったらできるので、全部5町ともやつたらいいのになと思って、ちょっとご報告させていただきました。
- 副部会長 ありがとうございます。うれしい話です。
- 委員 ○○さんと一緒にやられていたそのPTA会長さんのお話も聞かせていただいて、どういうふうにやったかということを教えていただいて、上矢作もやることになったので、多分どこの町でもできるんじゃないかなと思うので。
- 副部会長 形としてはあれですか、今年度はそういうふうで、また来年度以降はどうしようかと検討していくかという。
- 委員 来年度以降は中学校の資源回収のお金がなくなるじゃないですか。その分を小学校にちょっと上乗せしていただいて、6年生が中学校に上がるときにプレゼ

ントするという形にしようということになってきました。

副部会長 なるほど。そうすると、来年度以降も継続する方向で考えていらっしゃるということですね。

委 員 なので、みんな新しいジャージを着て、中学校に行けるという形になってきました。

副部会長 ありがとうございます。

そのほか何か確認することはよろしかったでしょうか。事務局のほうでお願いします。

事務局 ひとつよろしいでしょうか。校歌のことなんんですけど、先ほど、歌唱指導を年明けに行うと話をさせていただきましたが、総会が今の予定でいきますと、もしかしたら歌唱指導が先に始まってしまうという可能性があります。ちょっとそのへんが、前後してしまう可能性があって、ご了承いただきたいなと・・・。

副部会長 理事会には間に合いそうですか。

事務局 理事会が、今の予定ですと2月の中ぐらいで考えていますので、年明け、1月の終わりぐらいから歌唱指導を始められればなと思ってはいるんですけど、岡田さんともその話はさせてもらっているんですが。

部会長 手続き的なこととはいえ、一応、段取り的には少なくとも理事会は通しておきたいという気がしますね。ちょっと早めに理事会を。ほかの部会との関係もあるから、そろえてという形であればそうなっちゃうのかもしれないけど。その書面審理でもいいから、何か理事の承認は得ておきたいところではあります。

事務局 分かりました。

部会長 さすがにひっくり返らないと思うけど、一応、そうは言っても、歌唱指導しちゃってからというのはちょっとね。

副部会長 一応、公にする前には手続を、必要な手續をということでおろしくお願いいいたします。

委 員 すいません、いいですか。すみません、まず〇〇さん、ジャージおめでとうございます。今、こういった言い方されたけど、上矢作は、3年前に始まったときから、僕がその話をしたときから、それがぜひやりたいということでやられてて、結果、上矢作もジャージをプレゼントできるという形になったので、本当におめでたいというふうに思うんだけど、よその地区ができるかという話は全く違うんだよね。これ山岡だって、僕たち、令和4年から準備てきて、やっと8年に出せるようになったというので、言い方、大変失礼な言い方になるけど、僕たちは地域自治区からのお金、一切もらってないです。小、中、園の保護者と、学校たちが協力して、自分たちで令和4年から準備してお金を作つて、やっと8年からめどが立つて、方向をつなげるという形を作ったんですね。その頼れる場所が、地域自治区が悪いってことじゃなくて、結果としてはどこも同じように、ジャージがもらえるという成果は一緒だもんでそれはいいんだけど、これを、今、〇〇さん、簡単にどの地区でもできる、簡単でもないと思うけど、言っちゃったんだけど、実はこれ、岩村、明智でやろうとしたときに、生徒数の問題から、とてもそんなに簡単にできる話じゃないですね。

僕が懸念するのは、山岡と上矢作が来年から卒業記念でジャージがもらえるよっていうことが、先に独り歩きした結果、明智、岩村、串原の地域の方たち、保護者じゃなくて、子供じゃなくて、地域に携わる人たちが、何であんたたち出してあげないのって言われることっていうのは、逆に申し訳ない気になっちゃうもんで、やっぱりそういった、当然、○○さんも上矢作で本当に努力をされて、こういった結果につながった。山岡は僕じゃないです。僕の先代の前のPTA会長たちが本当に努力してやった結果がここにつながったっていうだけで、どの地区も真似できると思ったら、ちょっとこれは違うんで、もし皆様方、そういう話があったら、皆さんたちが努力していないっていう意味ではなく、山岡と上矢作については特別な努力をして今にあるっていうことをぜひ強調して、地域が出してないで悪いみたいなことにだけならないようにして、そういう発言をしていただけだとありがたいなと思いますので、お願いします。

委員 本当に○○さん、おっしゃるとおりで、PTAの方とか、本当に自治区の方と本当にコミュニケーションを取って、ちゃんと話合いができるないと本当にできなかつたので、○○さん、おっしゃるとおりで、PTAが主体になって動かないとできないことだし、誰かがやってくれるっていうのでは絶対ないので、みんなが一生懸命動いたからできた結果だと私も思ってるので。

委員 わめでどうございました。

副部会長 それでは、そのほか協議事項もございませんので……。

委員 もう一個、ちょっと。

副部会長 はい。

委員 前回、総会のときの話なんんですけど、やっぱり校訓の課題の、校訓のときの、賛成ですか、どうですかといったときの、保護者の方たちの举手の数、物すごく少なかつたんです。あれって、举手の数って数えてらっしゃるんですかってのをお聞きしたいんですけど。あれ、ちょっと私、みんなポカーンとしてたから大丈夫かなと思ったところがあるんですけど。

事務局 数えてはいました。ちょっと手挙げた方がちょっと少なかつた、こちらの説明が不足としている部分もあったかもしれませんけど、举手のほうが少し多かつたので、承認されたということで、総会のほうでは話をさせてもらいました。

委員 ただその本当に、このときの举手の数が本当に少なかつたということを、ちゃんと教育委員会さんも見ていたはずなので、その辺はちゃんと本当に説明しないといけないなということを本当に心に置いていただきたいなと思っていて、結局みんな納得しないから賛成できなかつたと思うんですよね。そこの部分というのはちゃんと考えていただきたいなと思います。

何か多数決で今まで物事が決まっていくて思うんですけど、多数決はしてもいいと思うんですけど、その多数決によって困る人がいる場合は、必ずその困り事を解決しないと多数決しちゃいけないと思うんですよね。なので、やっぱりそこを丁寧な説明だつたりとか、ちゃんとクリアにしていかないと、土台がやっぱりできていかないと、建物は建って、はい、学校造りました、スタートしましたじやあ駄目だと思うので、そこら辺はやっぱり皆さんのが気持ちを酌

- むということをしていただけたらと思います。
- 副部会長 ありがとうございます。
- 校長会のほうでも、この教育目標を、やっぱり皆さんにより分かっていただるために、具体的に学校生活の、どういうふうに行うのかというグラウンドデザインですね、教育計画をこの後、目標に基づいて肉づけして、また皆さんにお示しできるように進めていきますので、またそちらも御覧いただきながら、同じ目標の下で、子供を育てていけたらと願っていますので、よろしくお願ひします。
- 委 員 あともう1個、私が総会の最後にお聞きした、保護者全員に対する説明はもうやっぱりやらないということですかね。その回答は・・・。
- 事務局 そうですね、説明というかどういった説明を。
- 委 員 私、総会のときに最後にお話しさせていただいたと思うんですけど、バスの事故がたくさんこの年度ありましたよねということを含めて、全体に、保護者全體に説明責任はないですかというところと、市長も含めて説明していただけたらうれしいですと、今、40人近くの方が希望してますよということをお伝えさせてもらったんですけど、それに対しての回答はやらないということですか。
- 事務局 そうですね、保護者説明会とか、また2月にも予定していますが、その際にも、スクールバスの運行に関しては、話はさせてもらう予定でいます。
- 委 員 前回の、その、例えば、次に中学校に上がる子たちだけに説明されたじゃないですか。そのときもスクールバスの話はしなかったですかね。
- 事務局 スクールバスの話は.....。
- 委 員 事故が起きましたっていう報告だったりとか、こういうふうに今度、改善していくますっていう話はおっしゃってないみたいなんんですけど。
- 事務局 質問があった場合には答えさせてもらったんですけど。
- 委 員 質問には答えるけど、自らは説明はしないということですか。
- 事務局 また2月の説明会のときはそういった不安を持たれている方もみえるとおもいますので、話をさせてもらいたいなど。
- 委 員 質問があったら説明をするんですか。
- 事務局 ごめんなさい、1回目の説明会のときは、質問があったときに答えさせてもらいましたけど、2回目に関してはそういった不安を抱えた方もみえると思いますので、こちらから説明させていただきます。
- 委 員 それは全体に話すんですか。
- 事務局 それぞれ地域ごとにやる予定をしてますので、話はそこでさせていただきます。
- 委 員 結局、そういうことが後手後手に回ることで、保護者からの信頼が薄れていくということだけは覚えておいてください。
- 事務局 はい。分かりました。
- 副部会長 それでは次の総務部会については、総務部会が担当する課題について、全て一通り、これで検討がなされていますので、もしまだ何か必要な検討が持ち上がったときに、改めて皆様に総務部会の開催が必要ということでご連絡をさせていただことになりますので、今日のところは、次回については日時を定め

ず閉じたいと思います。よろしくお願ひいたします。
それでは、これで第16回の総務部会を閉じさせていただきます。皆様ありがとうございました。